



スマイル子育て便り

釧路市児童発達支援センター 令和6年6月1日発行 No.24

お子さんの排泄の自立についてのお悩みはありませんか？「パンツを取り替えるよ〜」「いやだ!」というやり取りもちらほら・・・今回は、排泄をミカンの木、お子さんができるようになることをミカンの実に例え、子どもの排泄の自立に必要なことをお伝えします。ミカンの実を大きく成長させるには「大人が関わる」という栄養が必要です。栄養が行きわたるためにどのような関わりや声掛けがよいのか考えてみましょう。

排泄の自立をミカンの木で表すと



このように関わることでミカンは栄養を吸収して大きく強く育ちます。

栄養を与えることで木の幹が太くなりミカンの実(排泄の自立)が育っていきます!

共感する(いっぱい出たね)

おしっこやうんちが出たことが悪いことだと印象づいてしまうと、それ自体が怖くなってしまいますので、生理的現象もほめることが大切です。

見本を見せる(トイレで座る)

ほめる(トイレにきてえらいね)

お世話をする(おむつを取り替えてすっきりしたね)

お子さんが「〇〇できるようになってほしい」という願いを実現していくためには、大人の関わりは非常に大切です。大人の心にゆとりがないと、できないことに目が向いてしまいがちです。広く視点を保てるよう保護者の方も息抜きをしたり、深呼吸をしてリフレッシュをしながら、お子さんにたくさんの栄養を与えていきましょう!



※ 伝え方やほめ方のポイントなど、これまでのスマイル子育てだよりは釧路市HPに掲載しています。
(<http://www.city.kushiro.lg.jp/kosodatekyouiku/kosodate/1005280/1005394/1005403/1007371.html>)

※ 質問や相談がありましたら、気軽に児童発達支援センター職員に声をかけてください。

- ◇ 地域支援相談係 44-3555
- ◇ 野のはな園 44-1022



スマイル子育てだより
バックナンバーはこちら